

平成 2 9 年度

特 別 養 護 老 人 ホ ー ム

せくれ～Secure～事業報告書（案）

（併設型短期入所生活介護事業所含む）

V. 平成29年度特別養護老人ホームせくれ～Secure～並びに併設型 短期入所生活介護事業所せくれ～Secure～事業報告書（案）

平成30年3月31日 現在

【はじめに】

社会福祉法人ふれあいの里地域密着型特別養護老人ホームせくれ～Secure～は、平成24年6月1日より運営を開始し、7年目を迎えようとしております。大きな事故もなく運営をしてこれましたのも、役職員の皆様はじめ、地域の皆様、家族会の皆様、その他関係諸団体皆様のご理解やご協力があったることと感謝致しております。

施設運営については、法人経営の基本理念にもあるとおり、入居者皆様と接する中から得る『気づき』をサービス提供におけるひとつの方法論として模索しながら、入居者皆様が安心して暮らせる『場所』づくりを具現化するため職員一同一丸となり『せくれ』なりのサービス体制の構築へ努めて参りました。しかしながら、福祉援助や介護サービスの現場へ携わる以上、職員一人一人の技術や知識は均等ではなく、業務を励行する中でいろいろな悩みや葛藤を抱きながら業務へ努めて来た姿も見受けられました。「自分はもっと良いサービスを提供したいのにそれを素直に表現できないジレンマ・・・周囲からなかなか理解されないストレス・・・各課・各職員と意見が合わないときのもどかしさ・・・」などなど、職員各々が入居者皆様にとってより良いサービスの構築のため共に悩み、共に考え、共に努力を重ねてきた一年でもありました。

このようなことから、職員が抱いてきた悩みや葛藤を無駄にすることなく、より良いサービスを構築する上でのひとつの課題と捉え、その課題を解決する場として施設委員会体制を整備し、各課、職員各々の業務へ対する『考えや思い』を各課毎、各ユニット毎のカラーとして確立していけるよう努めて参りました。

今後は会議や委員会体制へ要してきた時間を検討しながら業務省力化へ努め、業務の効率化を図って参ります。

1. 施設の形態及び定員

事業名	居室形態			
	4人部屋	2人部屋	個室	合計
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	12床	2床	18床	32床
短期入所生活介護	0床	8床	2床	10床
合計	12床	10床	20床	42床

※短期入所生活介護には、空床利用型障がい者短期入所生活介護サービスの利用可能枠2床を含む。

2. 入居者の状況

(1) 出身別入居者状況

出身地別	従来棟	ユニット型10名棟	ユニット型8名棟
迫町	7名	4名	2名
南方町	3名	1名	0名
豊里町	1名	0名	0名
中田町	1名	0名	3名
登米町	0名	1名	0名
石越町	0名	0名	2名
東和町	2名	1名	0名
米山町	0名	0名	0名
津山町	0名	0名	0名
合計	14名	7名	7名

(2) 年齢別入居者状況

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	0	2	2	1	0	1	0	0	6
女	0	0	1	2	1	0	10	6	2	0	22
合計	0	0	1	3	3	1	10	7	2	0	27

最高年齢： 97歳

最少年齢： 66歳

平均年齢： 85.03歳

(3) 介護度及び男女別入居（利用）状況

①従来型

平成30年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
女 性	0名	1名	6名	4名	3名	14名	3.6
合 計	0名	1名	6名	4名	3名	14名	3.6

②ユニット型

平成30年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	2名	3名	1名	6名	3.8
女 性	0名	0名	1名	5名	2名	8名	4.2
合 計	0名	0名	3名	7名	3名	14名	4.0

③併設型短期入所生活介護

平成30年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	4名	3名	1名	8名	3.3
女 性	5名	6名	6名	1名	5名	23名	3.1
合 計	5名	6名	10名	4名	6名	31名	3.1

(4) 稼働状況

①従来型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	14名	30日	420日	420日	100.0%
5月		31日	434日	408日	94.0%
6月		30日	420日	390日	92.9%
7月		31日	434日	428日	98.6%
8月		31日	434日	402日	92.6%
9月		30日	420日	397日	94.5%
10月		31日	434日	403日	92.9%
11月		30日	420日	393日	93.6%
12月		31日	434日	425日	97.9%
1月		31日	434日	409日	94.2%
2月		28日	392日	372日	94.9%
3月		31日	434日	434日	100.0%
従来型平均稼働率			5,110日	4,881日	95.5%

②ユニット型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	18名	30日	450日	436日	96.9%
5月		31日	465日	433日	93.1%
6月		30日	450日	416日	92.4%
7月		31日	465日	434日	93.3%
8月		31日	465日	433日	93.1%
9月		30日	450日	390日	86.7%
10月		31日	465日	387日	83.2%
11月		30日	450日	417日	92.7%
12月		31日	465日	434日	93.3%
1月		31日	465日	436日	93.8%
2月		29日	420日	420日	100.0%
3月		31日	465日	449日	96.6%
ユニット型平均稼働率			5,460日	5,085日	93.1%

※平成30年3月1日より3床増築

③併設型短期入所生活介護（障がい者短期入所生活介護を含む）

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	10名	30日	300日	264日	88.0%
5月		31日	310日	284日	91.6%
6月		30日	300日	282日	94.0%
7月		31日	310日	264日	85.2%
8月		31日	310日	292日	94.2%
9月		30日	300日	292日	97.3%
10月		31日	310日	300日	96.8%
11月		30日	300日	266日	88.7%
12月		31日	310日	277日	89.4%
1月		31日	310日	264日	85.2%
2月		28日	280日	243日	86.8%
3月		31日	310日	253日	81.6%
併設型短期入所生活介護平均稼働率			3,650日	3,281日	89.9%

(5) 利用者負担段階別所得区分の状況

①従来型

平成30年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	0	0	0	0	0
女 性	3	7	4	0	14
合 計	3	7	4	0	14

②ユニット型

平成30年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	1	2	2	1	6
女 性	0	4	3	1	8
合 計	1	6	5	2	14

③併設型短期入所生活介護

平成30年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	0	0	0	8	8
女 性	0	1	1	21	23
合 計	0	1	1	29	31

【上記所得区分の内容】

利用者負担第1段階	住民税非課税世帯・老齢福祉年金受給者並びに生活保護受給者の方
利用者負担第2段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以下の方
利用者負担第3段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以上266万円未満の方
利用者負担第4段階	左記以外の方（課税年金収入が266万円以上の方）

(6) 日常生活の状況（従来型＋ユニット型：29名対象）

① 日常生活自立度の状況【日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】（厚生労働省）

平成30年3月31日 現在

生 活 自 立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する	
		1. 交通機関を利用して外出する	0名
		2. 隣近所へなら外出する	0名
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	3名
		2. 外出する頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	7名

寝たきり	ランクB	屋内での生活は介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが座位を保つ	
		1. 車いすに移乗し、食事・排泄はベッドから離れて行う	7名
		2. 介助により、車いすに移乗する	9名
	ランクC	一日中ベッドで過ごし、排泄・食事・着脱において介助を要す	
		1. 自力で寝返りをうつ	1名
		2. 自力では寝返りをうたない	3名

② 日常生活動作の状況【日常動作判定基準】（厚生労働省）

平成30年3月31日 現在

1. 移乗	A 時間がかかっても介助無しにひとりで歩く	4名
	B 手を貸してもらうなど一部介助を要する	7名
	C 全面的に介助を要する	18名
2. 食事	A やや時間がかかっても介助なしに食事をする	8名
	B おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	12名
	C 全面的に介助を要する	9名
3. 排泄	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	5名
	B 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	3名
	C 全面的に介助を要する	21名
4. 入浴	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	0名
	B 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	13名
	C 全面的に介助を要する	16名
5. 着替	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	2名
	B 袖をとおしてもらうなど一部介助を要する	14名
	C 全面的に介助を要する	13名
6. 整容	A 時間がかかっても介助無しに自由に行える	3名
	B タオルで顔を拭いてもらうなど一部介助を要する	14名
	C 全面的に介助を要する	12名
7. 意思疎通	A 完全に通じる	16名
	B ある程度通じる	6名
	C ほとんど通じない	7名

③認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（厚生労働省）

平成30年3月31日 現在

ランク	判定基準	人 数
I	何らかの認知症を有するが日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	0名
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる	0名
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる	3名
II b	家庭内で上記IIの状態が見られる	8名
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	0名
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	8名
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	5名
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	5名
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	0名

④認知症状による行動障害

徘徊	不潔行為	異食	自傷行為	心気抑うつ状態	火の扱い	幻覚	不穏興奮	妄想
2名	6名	3名	1名	7名	0名	2名	18名	7名

3. 各課毎の業務報告及び課題

平成24年6月1日より、特別養護老人ホームせくれ～Secure～が運営を開始し早いもので7年目を迎えようとしております。

各ユニットとも開所からこれまでの期間は、入居者のこれまでの『生活リズム』や『生活歴』を考慮し、生活する場所が変わっても安心して暮らせる場所『家』となるべく業務へ邁進してきました。また、介護サービスを提供する上で、知識や技術において、均等ではないため業務体制の構築へ時間を要し、より良いサービス体制の構築のため経験者、新卒者とも葛藤しながら業務へ一所懸命取り組む姿を垣間見て来たように感じます。

このような状況の中、大きな事故もなく、施設サービスを提供してこれたのも、看護、介護の責任者が中心となり、介護技術や業務へ対する姿勢、取り組み方ばかりではなく、『業務へ対する思い』を含め丁寧な指導を重ねた結果と感じます。

現在では、日常業務の他、これからの『せくれ～Secure～』のサービスの在り方について、法人の基本理念や施設経営方針を考慮しながら、業務へ取り組めるようになってきております。

今後とも介護課、相談課、看護課、栄養課、事務課、それぞれが連携を図りながら、入居者の皆様はじめ関わる全ての皆様にとって、なくてはならない施設を目指し努めてまいります。

以上を含め、平成29年度の課題と目標について、各課毎、以下のとおり報告します。

(1) 事 務 課

〇〇ロボット等介護機器導入支援事業報告について

平成29年度ロボット等介護機器導入支援事業補助金交付より2/21～見守り支援システム「眠りSCAN」10台を導入(従来棟・SS・ユニット棟へ入居者に対し15%配置)。使用状況報告を3月の運営推進会議にて報告し、宮城県へは4/3時点で実績報告しております。

目的・目標	・利用者様の体調変化の早期発見・早期対応ができ必要時は家族への連絡ができる。 ・夜間帯の利用者様の安眠を確保しながら介助を行う。 ・職員の精神的負担軽減を図る。
目的・目標達成のための手段(施設で工夫をとる等)	・新規利用者様の生活リズムを把握し24時間シートの反映に繋げる。 ・ショートステイ報告書類へ現在より詳しく睡眠状態等の報告ができる。 ・ターミナルのアラーム設定基準(呼吸・心拍数)を決め、早期対応(囑託医・家族への連絡)ができる。 ・ノンレム睡眠・レム睡眠を生かした介助(トイレ誘導等)ができる。 ・定期的巡視回数を減らすことで、優先すべき利用者様の介助にあたることができ、少しでも一人夜勤体制による精神的負担の軽減へ繋げる。

事務課 平成29年度の課題
入居者が安心して毎日の生活を送ることを目的とし、日々のサービスの向上に努めていきたいと考えております。日々のサービスが「流れ作業」にならぬよう、サービスに「プラス1：入居者にとって良いことや要望に応えるサービス」を心がけたいと思います。入居者に寄り添い意見や要望を引き出し、それに応じたサービスや活動を実施していくことで、入居者の安心・安全に繋がると考えます。そのために、入居者の機能の低下とならないような機能訓練を充実させること、趣味・嗜好に応じた活動やレクリエーション、行事計画の立案など、各職員と連携して取り組んでいきたいと考えております。 また法人の重点施策でもある人材育成について、研修のみならず、業務を他職員へ教えること・自分自身が覚えることを通して、職員個々のスキルアップにもつなげていけるよう、取り組んでいきたいと考えております。さらに今年度の社会福祉法改正に伴い、法人組織のガバナンス強化と見直しが行われているため、施設職員のみならず同法人内各事業所間との横のつながりを深め、体制の強化と業務の効率化を図って参ります。
課題を改善するために講ずる計画の概要
クラブ活動や食事の時間帯などで入居者と関わる時間をもち、入居者の役割と選択肢の幅を広げていきたいと考えております。また職員の悩みや不安、「自分なりにこうしたい」という要望や職員個々の強みを引き出していけるよう取り組んで参ります。事務課として、デスクワークに留まらず「自ら足を運ぶ」ことを心掛け、入居者の生きがい、職員の働きがいへとつなげていきたいと考えております。引き続き、社会福祉法改正に伴う地域との公益的な取り組みの実施について、地域協力員会議や運営推進会議、行事を通して考え、さらに地域との連携強化と地域交流に努めて参ります。

(2) 相 談 課 (生活相談員・介護支援専門員関係)

①主な業務報告

【ケアカンファレンスの開催状況】

平成30年3月31日現在

ユニット /月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
8名棟	0	2	3	3	2	1	0	1	1	2	3	2	20	2.8
10名棟	0	1	1	1	2	1	1	0	1	0	1	1	10	1.25
従来棟	3	3	0	2	3	5	2	4	2	2	5	4	35	2.5
合 計	3	6	4	6	7	7	3	5	4	4	9	7	65	6.55

※入居者に対し、3ヶ月に1回モニタリング、6ヵ月に1回ケアプランの見直し1年に1回、ケアプランの立案を行った。

※ケア、栄養、機能訓練のケアプランを反映させた、入居者個々の24時間シートを整備した。

【月別入居者数】

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	0.25
10名棟	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.08
8名棟	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.16
合 計	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	6	0.5

【月別新規入居申込の状況】

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	3	1	3	0	3	1	0	1	0	1	2	2	17
要介護4	1	1	1	0	1	0	1	0	3	0	3	2	13
要介護5	2	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1	10
合 計	6	4	4	0	4	1	1	3	5	2	5	5	40

【地域別入居申込の状況】

(平成30年3月31日現在)

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	他市町村	計
男	2	0	3	1	0	0	1	1	0	0	8
女	14	0	1	0	0	2	4	0	0	0	21
計	16	0	4	1	0	3	5	0	0	0	29

【退居状況】

1. 退居理由

(平成30年3月31日現在)

	希望退居	施設間異動	入院継続	死亡（施設）	死亡（病院）	合 計
男	0名	0名	0名	1名	0名	1名
女	0名	0名	2名	0名	4名	6名
計	0名	0名	2名	1名	4名	7名

2. 月別退居者数

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0.25
10名棟	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.16
8名棟	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0.16
合 計	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	2	7	0.58

③ 課題及び改善計画

相談課 平成29年度の課題
1. 状況の変化にも臨機応変に対応できるよう、早急に体制を整備する必要があります。 2. 直接的または間接的な支援により、入居者様のニーズに則したケアを行えるような 度台づくりが必要です。
課題を改善するために講ずる計画の概要
平成29年度は職員の入れ替わりや、短期入所を含め利用されている方々の状態にも変化があり、それに伴い求められるケアも急劇に変化し、相談課として連絡調整や他課へのサポート等の対応に追われました。 利用者の急劇な状態変化も多く、ケアプランや24時間シートの周知徹底がなされないうちに変化する事もありました。新規利用者の獲得に追われましたが、長期入居では空床を埋めるまで時間がかかってしまった事は、大きな反省点でした。 また、昨年度継続してきた習字クラブは、年4回の開催しかできませんでしたが、新しく地域のサークルの方を招いての「お茶っこのみ会 in せくれ」を6月～12月まで実施できたことや、他課連携で「居酒屋」「café」を、実施することができ、利用者の楽しみをいくらかでも増すことができました。 来年度は引き続き、利用者お一人お一人にしっかりと向き合い、ニーズに即したケアの提供や趣味活動やクラブ活動の更なる充実を、相談課が中心となり、行ってまいりたいと思います。

(3) 看 護 課

①主な業務報告（健康管理の状況）

入居者様の健康状態を観察し、小さな変化も見逃さないよう、入居者様一人一人と関わりをもち、体調不良時には速やかに対応を行うよう努力して参りました。

また、各課との連携と情報の共有を図り、入居者様が毎日を笑顔で過ごせるよう看護師の立場から援助していきたいと考えております。

【嘱託医の回診状況】

嘱託医（宮崎医師）による週1回の回診では、入居者様への適切な処置や日常生活における健康管理をご指導頂き、快適な暮らしができるように体調の管理に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	4回	5回	4回	5回	5回	4回
人 数	102名	121名	100名	103名	125名	100名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	4回	5回	4回	4回	4回	4回
人 数	130名	133名	106名	100名	100名	100名

【歯科医師の回診状況】

月1回協力歯科医（千葉明宏先生）に診察を受け、適切な処置や歯磨きの指導をしていただき、口腔内の清潔保持と口腔機能低下の予防に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	4名	5名	3名	3名	4名	5名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	6名	3名	4名	5名	4名	5名

【理学療法士の指導状況】

個別リハビリの充実を図るため、月2回氏家理学療法士の指導でプログラムを作成し機能回復訓練を実施するとともに、入居者様それぞれに応じた筋力維持運動・関節可動域訓練を実施しました。また、日常生活の中で行うレクリエーションやクラブ活動を通して身体機能低下の予防を図りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人 数	15名	16名	15名	15名	13名	15名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人 数	14名	16名	14名	16名	13名	17名

【入院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	1名	0名	1名	0名	1名	0名	1名	6名	7名	4名	3名	0名	24名
外 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
泌尿器科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
脳外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

【通院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	1名	0名	1名	0名	0名	1名	4名	0名	1名	1名	0名	0名	9名
外 科	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
泌尿器科	0名	0名	2名	0名	1名	2名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	7名
整 形	0名	0名	0名	0名	0名	2名	1名	1名	0名	1名	0名	2名	7名
形成外科	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
脳 外 科	0名	0名	1名	0名	0名	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	3名
皮 膚 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	2名	3名	6名
歯 科	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名	3名
眼 科	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	2名
耳鼻科	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
血管外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	1名
放射線科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名	2名
精 神 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	2名

【健康診断及び結核健診の実施状況】

ユニット /月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	0名	0名	0名	1名	0名	0名	7名	0名	0名	2名	6名	0名	16名
10名棟	0名	0名	1名	3名	1名	1名	6名	2名	0名	2名	8名	1名	25名
従来棟	0名	0名	0名	2名	0名	0名	13名	0名	0名	3名	14名	0名	32名
合 計	0名	0名	1名	6名	1名	1名	26名	2名	0名	7名	28名	1名	73名

※2月 宮城県結核予防会による胸部レントゲン撮影を実施

②看護課 課題及び改善状況

看護課 平成29年度の課題
① 入居者様の健康観察が不足している。
② 入居者様の情報が整理されていない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
①業務内容を見直し、ユニットでの見守り等入居者様との関わりを持ちながら健康観察を行います。
②入居者様の情報は、看護課内だけでなく各課へ確実に伝達し、必要に応じて話し合いを行い、共通理解を図るようにします。

(4) 栄 養 課

①栄養管理部門の主な業務報告

入居者様それぞれに合った食事を提供することはもちろん、急な食事変更にも臨機応変に対応が出来るよう心がけて業務を行いました。提供している食事に関しても、年に1度行っている嗜好調査の結果を活かして、出来るだけ多くの入居者様の要望に応えられるよう、献立の調整も行っています。ユニットに分かれての食事作りは、なかなか実行出来ませんが、他課の協力のもと、手作りの間食作りは何度か実施できた事は良い点でした。

施設外活動に関しては直営開始当初からの目標であった配食サービスも2月より始まり、栄養課ならではの地域の皆様との貴重な関わりの時間を得ることが出来ました。

【食事形態と提供給食数】

① ユニット型 長期入居（定員：15名※3月～定員：18名）平成30年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサー	軟菜食	経管	合 計
4月	20.9	7.9	0.0	3.0	13.0	0.0	44.8
5月	16.0	8.3	0.0	3.0	14.8	0.0	42.1
6月	18.7	8.0	0.0	3.0	11.9	0.0	41.6
7月	21.0	3.0	0.0	3.0	13.9	0.0	40.9
8月	20.9	2.9	0.0	3.0	13.8	0.0	40.6
9月	20.9	3.0	0.0	3.0	13.9	0.0	40.8
10月	22.0	2.8	0.0	3.0	14.4	0.0	42.2
11月	24.5	3.0	0.0	3.0	14.0	0.0	44.5
12月	21.5	3.0	0.0	3.0	14.9	0.0	42.4
1月	18.0	3.8	0.0	3.0	14.4	0.0	39.2
2月	18.0	3.0	3.0	3.0	18.0	0.0	42.0
3月	15.0	3.0	3.0	1.8	20.0	0.0	42.8
合 計							503.9

※4/5 昼～ミキ→ムースに1名変更、4/8 昼～常食1名入居、4/19 朝～軟菜1名食止 21 昼～ミキサーで再開、その後 23 昼～軟菜に変更

※5/26 昼止常食1名、5/31 昼止常食1名

※6/10・6/23 昼止常食1名、6/22 昼止常食1名、6/25 昼止軟菜1名

※7/1 朝～ユニット→従来棟へ常食1名移動、7/4 昼～軟菜1名入居、7/21 昼止常食2名

※8/8 昼～止軟菜1名 8/22 昼～ミキサーで再開、8/14 昼止常食2名

※9/2 昼止ソフト1名・常食1名、9/26 昼止軟菜2名

※10/6 夕～ムース→ミキサーに1名変更→10/7 朝～退居、10/7 昼～ミキサー→ムース 10/13 昼～ムース→ソフトに1名変更、10/21 昼～常食1名入居、10/22 昼止ソフト1名、10/24 昼～止ソフト1名→その後退居

※11/14 朝～常食 1 名入居、11/15 昼止軟菜 1 名、11/19 昼～止常食 1 名、11/21 昼～止軟菜 1 名→その後退居、11/25 昼止常食 1 名

※12/1 昼～軟菜 1 名再開、12/14 昼～止軟菜 1 名→その後退居、12/18 朝～止ソフト 1 名→その後退居、12/24 夕～止常食 1 名、12/24 昼止軟菜 1 名

※1/6 間～軟菜 1 名再開→1/20 昼～止→その後退居、1/16 朝～常食 1 名入居、1/17 朝～止常食 1 名→その後退居、1/17 昼～ミキサー 1 名入居→24 夕～ミキサー→ムースに変更、1/30 間～ミキサー 1 名入居

※2/20 昼～軟菜 1 名入居、2/28 昼～軟菜 1 名入居

②従来型 長期入居（定員：14 名）

平成30年3月31日現在

月	常食	軟菜	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	経管	合 計
4 月	15.0	12.0	9.0	0.0	2.0	0.0	38.0
5 月	18.0	12.0	9.0	0.0	2.8	0.0	41.8
6 月	18.0	12.0	3.0	3.0	3.0	0.0	39.0
7 月	17.6	12.0	3.0	3.0	3.0	0.0	38.6
8 月	18.0	15.0	3.0	3.0	2.0	0.0	40.0
9 月	17.7	15.0	3.0	3.0	3.0	0.0	41.7
10 月	14.9	17.6	3.0	3.0	3.0	0.0	41.5
11 月	14.4	15.7	5.1	2.5	1.9	0.0	39.6
12 月	13.1	11.7	8.0	2.9	3.0	0.0	38.7
1 月	17.8	11.0	5.2	3.0	3.0	0.0	40.0
2 月	17.6	12.0	6.0	3.0	3.0	0.0	41.6
3 月	18.0	12.0	9.0	3.0	3.0	0.0	45.0
合 計							485.5

※6/21 夕～経管 1 名入院→その後退居

※7/1 朝～ユニット→従来棟へ常食 1 名移動

※8/1 朝～常食→軟菜に 1 名変更

※9/28 昼～常食 1 名退居

※10/4 間～軟菜 1 名入居、10/15 昼止常食 1 名、10/18 昼止常食 1 名・軟菜 1 名

※11/1 昼～止ムース 1 名・ミキサー 1 名、11/11 間～再開ミキサー 1 名、11/11 夕～軟菜→ソフト 1 名、11/23 昼～軟菜→ソフト 11/25 夕～ソフト→軟菜 1 名、11/30 朝～止軟菜 1 名

※12/1 昼～ムース 1 名再開、12/10 昼～軟菜→ソフト 1 名変更、12/12 夕～常食→軟菜 1 名、12/21 昼止常食 1 名、12/24 昼止軟菜 1 名、12/31 夕～止軟菜 1 名

※1/3 間～軟菜 1 名再開、1/11 夕～軟菜 1 名退居、1/11 夕～ムース→ミキサー→1/22 朝～止 1 名、1/16 昼～常食 1 名入居、1/19 昼～軟菜 1 名入居

※2/16 昼～ミキサー 1 名再開

③併設型短期入所生活介護（定員：10名）

平成30年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサー	軟菜食	経管	合計
4月	16.2	0.0	0.0	0.8	3.6	0.0	20.6
5月	15.9	2.1	0.0	0.0	3.4	0.2	21.6
6月	15.0	4.0	0.0	0.0	2.9	0.2	22.1
7月	16.5	4.3	0.0	1.0	2.8	0.0	24.6
8月	15.8	4.7	0.0	0.0	0.4	0.4	21.3
9月	20.0	4.0	0.0	1.0	0.6	0.0	25.6
10月	20.1	3.1	0.0	0.7	0.7	0.0	24.6
11月	17.4	3.6	0.0	0.5	0.4	0.0	21.9
12月	17.9	3.6	0.0	0.8	0.4	0.2	22.9
1月	16.0	4.1	0.0	0.6	0.5	0.0	21.2
2月	15.5	3.1	0.0	0.0	2.0	0.0	20.6
3月	16.7	3.9	0.0	0.0	2.7	0.2	23.5
合計							270.5

【行事食の提供状況】

入居者様にとって楽しみのひとつである行事食では、年に1度行われている嗜好調査の結果を反映し、出来るだけ多くの方の要望を取り入れられるよう、献立を調整しています。

今後も旬の食材などを積極的に取り入れ、食事の面からも季節を感じていただけるように工夫していきます。

提供月日	行事食名	献立内容
4月14日	観桜会	桜ちらし、吸い物、春の炊き合わせ、鯖の西京焼き、果物盛り合わせ
5月5日	端午の節句	助六セット、清汁、天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し
5月8日	母の日	ねぎとろ散らし寿司、筍の炒め煮、マスカットゼリー
6月1日	開設記念	そば、助六セット、天ぷら盛合、炊合せ、果物盛合、茶碗蒸し
6月10日	入梅	ご飯、みそ汁、豚冷しゃぶ、筍の梅肉和え、キウイ
6月19日	父の日	ご飯、みそ汁、鯖の甘酢あん、ブロッコリーの土佐酢和え、茶碗蒸し
7月7日	七夕	七夕そうめん、野菜寒天、蒸しなすそばろかけ
7月18日	海の日	ご飯、野菜スープ、はんぺん醤油バター焼き、スパゲティナポリタン、ブロッコリーのごまドレ
7月30日	土用の丑の日	うな重風、吸い物、ピーマンとじゃこ炒め、りんごジュース

8月7日	立秋	さつまいもご飯、具沢山汁、鍋しぎ、さんまの甘露煮、モロヘイヤのお浸し
8月13日	お盆	枝豆ご飯、清汁、炒り豆腐、南瓜の含め煮、ほうれん草の辛子和え
9月15日	十五夜	月見そば、胡瓜のドレッシング和え、フルーツ杏仁
9月19日	敬老会	赤飯、茶碗蒸し、天ぷら盛合、炊合せ、鶏つくねの梅だれかけ、果物・漬物盛合
9月22日	秋分の日	栗ご飯、具沢山汁、松風焼き、お浸し、梨
10月10日	体育の日	いなり寿司、清汁、かれいの煮付け、野菜かきあげ、浅漬け
10月31日	ハロウィン	ご飯、パンプキンシチュー、スクランブルエッグ、温野菜
11月3日	文化の日	ねぎとろ丼、清汁、炊合せ、みかん
11月23日	勤労感謝の日	赤飯、けんちん汁、天ぷら盛合、煮浸し、パイナップル
12月21日	冬至	ご飯、吸い物、豚肉の生姜焼き、南瓜のいとこ煮、煮浸し
12月25日	クリスマス	クリスマスバイキング
12月31日	年越し	ご飯、年越しそば、赤魚の煮付け、白和え、茶碗蒸し
1月1日	元旦	ご飯、清汁、豆腐のかにあんかけ、おせち3点盛、紅白なます
1月2日	2日	ご飯、みそ汁、筑前煮、おせち3点盛、浅漬け
1月3日	3日	ご飯、みそ汁、厚揚げの和風あんかけ、おせち3点盛、黒豆
1月7日	七草粥	七草粥、豚汁、鮭塩焼き、春菊くるみ和え
1月8日	新年会	赤飯、清汁、天ぷら盛合、刺身2点盛、紅白テリーヌ、木の葉南瓜、炊き合わせ、茶碗蒸し
1月15日	小正月	小豆粥、味噌汁、カレイの白醤油焼き、蒸しナスのそぼろあんかけ、白菜漬
2月3日	節分	散らし寿司、吸い物、鶏肉の梅肉照り焼き、やわらかきんとき
2月11日	建国記念日	ご飯、清まし汁、刺身3点盛り、筑前煮、いちごクレープ
2月14日	バレンタインデー	ごはん、鮭のクリーム煮、トマトとチーズのサラダ、ほうれん草とベーコンの炒め物、コンポート
3月3日	桃の節句	お桜ちらし寿司、吸い物、お花豆腐バーグ、お祝いクレープ
3月17日	春彼岸	きつねうどん、カレイの酢醤油煮、コンポート
3月20日	春分の日	ミニ山菜そば、サワラ西京焼き、かぶと桜海老のコンソメ煮、桜餅風デザート

【非常食の備蓄状況】

非常災害に備え、3日間9食分を備蓄しております。また、東日本大震災を教訓とし、調理方法など工夫を凝らした食事が提供できるよう、給食委員会の場を活用し整備して参ります。

食品名	数 量	食品名	数 量
災害用 S50 白飯(5 kg)	7 ケース	五目豆(BH)(48 個入)	1 ケース
災害用 S50 五目御飯(5 kg)	1 ケース	ひじき(BH)(48 個入)	1 ケース
イソップ 災害パン オレンジ(24 個入)	2 ケース	切干大根(BH)(48 個入)	1 ケース
レスキュー みそ汁(24 個入)	10 ケース	かぼちゃいとし煮(BH)(48 個入)	1 ケース
コーンポタージュ(30 個入)	2 ケース	朝からフルーツ黄桃(24 個入)	1 ケース
レスキュー ウィンナーと野菜のスープ煮(24 個入)	2 ケース	朝からフルーツミックス(24 個入)	1 ケース
おいしい防災食 豚汁(50 個入)	2 ケース	朝からフルーツ杏仁(24 個入)	1 ケース
レスキュー 牛肉大和煮(24 個入)	2 ケース	ピュアマンウーロン茶(30 本入)	4 ケース
レスキュー マーボー丼(24 個入)	2 ケース	野菜生活 100 オリジナル(30 本入)	4 ケース
レスキュー 鶏肉うま煮(24 個入)	2 ケース	レスキュー中華丼の素(24 個入)	2 ケース
徳用ビーフカレー ジャンボサイズ(9 kg)	1 ケース	JA 全農千葉白粥(50 食入)	2 ケース
サバのみそ煮 E0(48 個入)	1 ケース	さんま味付生姜風味(48 個入)	1 ケース
いわし味付け E0(48 個入)	1 ケース	立山の天然水 5 年保存(21×6 本)	5 ケース
サトイモいか(BH)(48 個入)	1 ケース	5 年保存水(1.5l×8 本)	4 ケース

※3日分の非常食となります。

②栄養課 課題及び改善状況

栄養課 平成29年度の課題	
1.	育てた野菜や入居者様が食べたいものを購入してきて一緒に食事を作ったり、目の前で調理することで食べる意欲へ繋げる。
2.	食事形態や療養食への正しい知識を介護・栄養課共に共有し、入居者様に安心・安全に食事をして頂く。
3.	季節に合わせた食事を提供し、通常食とのメリハリをつける。
4.	入居者様の食事に対する乾燥や要望を行事食の際や新メニュー提供の際などに直接、栄養課職員が聞き取りを行う。
課題を改善するために講ずる計画の概要	
1.	畑で作った野菜の活用は、主に夏に実施することが出来ました。きゅうりやピーマン、トマト、ナスなどの夏野菜をたっぷりと使用したメニューを入居者の皆様に食べて頂けたので、今後も時期を見計らった無駄のない献立作成を心がけます。
2.	食事形態や療養食への関心については、栄養課職員間でもバラつきがあったように感じました。調理を行う立場として、ただ食事を作って終わるのではなく、入居者様の摂食状況や病状にも目を向け関連付けながらの業務が出来るように努めます。
3.	コスト面も考慮しつつ、行事食を中心に旬の野菜を取り込み、季節を味わって頂けるような食事の提供を行っていきます。
4.	以前のような聞き取りはなかなか行えていませんが、配膳の際などに入居者様とお話する機会が増えてきたように感じます。そういった貴重な時間を聞き取りに活かしていけるように、入居者様とのコミュニケーション、信頼関係作りに取り組んでいきます。

(5) 介護課

①介護課の主な業務報告

24時間シートの作成が終わり、新年度より本格的に導入されるため、準備してきました。入居者、家族の意向を確認すると共に、入居前の暮らしはどうであったのかを確認し、暮らしの継続を図れるように努めてきました。シートの活用で、入居者の暮らしが、より充実したものとなるように、職員一丸となり、入居者一人ひとりを支えていければと考えております。

【入浴の実施状況】

ユニット名	入浴種別	3月31日
8名棟	一般浴	1名
	中間浴	5名
	特 浴	2名
10名棟	一般浴	0名
	中間浴	5名
	特 浴	3名
従来棟	一般浴	9名
	中間浴	0名
	特 浴	5名

【全体の状況】

入浴種別	対象者数
一般浴	10名
中間浴	8名
特 浴	11名

ユニット別の特徴及び考察

入居者一名に対し、週2回以上の入浴を実施している。体調不良などにより入浴できない場合は、代替えとして全身清拭、部分清拭を行っている。各ユニット毎の入浴介助における特徴及び考察については、以下の通りです。

○8名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、個浴にて対応し入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴としストレッチャーを使用し入浴されています。

○10名棟

- ・歩行、又は立位、座位保持が可能な方は、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴、ミスト浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○従来棟

- ・立位、座位保持可能な方は、個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位保持できない方は、状態に応じ特浴又はミスト浴にて入浴されています。
- ・ご本人様の状況に合わせて、シャワー浴の時もあります。

【ユニット別 排泄状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	おむつ交換	5名
	トイレ誘導	4名
	排泄介助	8名
	留置カテーテル	2名
計		19名
10名棟	おむつ交換	6名
	トイレ誘導	4名
	排泄介助	8名
	留置カテーテル	0名
計		18名
従来棟	おむつ交換	3名
	トイレ誘導	4名
	排泄介助	5名
	留置カテーテル	0名
計		12名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・尿意、便意がなく立位困難な方は、オムツにて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、パッドの種類を使い分けています。

○10名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意の無い方、立位困難な方は定時でのオムツ交換を実施しています。
- ・トイレ誘導については、訴え、または排泄シグナルを見落とさず、実施しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツの種類を使い分けています。

○従来棟

- ・歩行、立位可能な方は、定時のトイレ誘導、声掛けにて対応しています。
- ・歩行、立位出来ない方は、定時のオムツ交換にて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツ、パットの種類（ユニ・チャーム又は光洋）を使い分けています。

【ユニット別 食事介助状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	全介助	1名
	一部介助	1名
	自立（セッティング）	6名
	計	8名
10名棟	全介助	2名
	一部介助	3名
	自立（セッティング）	3名
	計	8名
従来棟	全介助	3名
	一部介助	2名
	自立（セッティング）	9名
	計	14名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・自立の方は、個々の食べるペースを尊重し、見守りを行っています。
- ・途中で手が止まってしまう方には声掛け、又一部介助にて対応しています。

○10名棟

- ・基本的に提供時間は決まっていますが、時間内でそれぞれ好きな時間に食べて頂いています。また、自力摂取して頂けるよう、声掛け、配慮しながら必要時介助行っております。
- ・入居されている方の楽しみでもあり、生命の維持に重要な『食べる』を大切に職員同じ思いで食事の時間を提供させて頂いています。入居者個々のペースで、ゆっくり落ち着いて、楽しい雰囲気の中で、環境にも配慮しながら食事を提供できるよう努めています。

○従来棟

- ・配膳、セッティングは職員が行い、自力摂取を基本とし、見守り、声掛けを中心に食事ケアを実施しています。
- ・食べこぼしや途中で手が止まってしまう方には、見守りや声掛けを行い、可能な限り自力摂取できるように促し、自力摂取、一部介助、全介助と見守りながら介助しています。
- ・離床が負担になり、居室で食べたい方、一人でゆっくり食べたい方等居室でご本人の要望に応じた対応を心掛けています。

【ユニット別 余暇活動実施状況】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	外出支援	3			1	2	1	1	2					10
	お菓子作り		1		1			1				1		4
	ユニット行事、誕生会	1	2	1	1	1	1	1	1	2		2		13
10名棟	おやつ作り	2			1	2		1	1					7
	誕生会		1		1			1				1		4
	レク、ユニット行事	1	2	1	1	1	1	1	1	2		2		13
従来棟	誕生会	0		1	1		2	0	2		2	1	3	12
	ユニット行事	1	1	1	3	1	1	1	1	0	1	1	2	14
合計		8	7	4	10	7	6	7	8	4	3	8	5	77

【ひやりはっと・事業報告状況（ユニット別）】

入居者の重度化、職員の入れ替わりがある中、事故の件数は前年度に比較すると増加傾向にあった。ヒヤリハット報告件数は前年度より増加しているものの、なかなか統一した対応がなされず、同じような事故の内容が続きました。今後の課題として事故の発生を未然に防ぐ為のヒヤリハット報告はもちろんのこと、施設職員全体での危険予知トレーニングを実施し職員の危険に対する意識を高め、職員全員が共通認識を持ち事故防止に努めていきたい。また、職員一人一人のケアを統一する事や、内部、外部研修へ積極的に参加し施設全体で職員のスキルアップを図り、入居者様が安全に生活できるよう改善に努めていきたい。

ユニット/ 月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12月	1月	2月	3月	合 計
8名 棟	ヒヤリハット	1	5	3			1			1				11
	事故報告	1	1		2		1			1			1	7
10 名棟	ヒヤリハット	2	3	1	3	2		1			2			14
	事故報告		1	2	3		4				1			11
従来 棟	ヒヤリハット	3	4	1	8	2	4	1	3	3	4	6	4	43
	事故報告	1	4	9	8	8	6	7	12	12	5	2	5	79
合 計		8	18	16	24	12	16	9	15	17	12	8	10	165

②課題及び改善状況

ユニット型 8名棟

ユニット型8名棟 平成29年度の課題	
・ 人員の固定配置が難しく、10名棟職員と協力しあいながら各職員尽力していたと思います。しかしながら本来のユニットケアという形が思うように取れず試行錯誤の日々でした。以前と比べ、各職員両ユニット間の状態把握という点では申し送りを行いながら連携を図れるようになりましたが、個別対応・外出については少ない機会ながらも前年度よりは回数が増えてきた状態であり、まだまだ入居者様の満足の行く状態までは至っていないのが現状でした。 また、個人のスキルアップに向けて教育を続けており、ケアの統一化ができるよう、教育方法の改善やケアへの不安・疑問等話しやすい環境づくりが必要と感じております。	
課題を改善するために講ずる計画の概要	
・ ユニットスタッフ間で24時間シートの必要性を再認識するため、リーダー、主任を中心に棟会議などで取り上げて意識を高める。 ・ スタッフのスキルアップのため、資格取得や介護課として内部研修を実施し新しい事にチャレンジする。 ・ 話やすい、相談しやすい環境作りに努め、ユニット内入居者、職員にとって安心出来る場所としていけるよう、コミュニケーションを重視し業務改善に努める。 ・ スタッフ全員が五本柱（誰のために何をどうするか・・・）を重点に考えて業務にあたり、各課との連携を図る。行事、外出に関しても各と一体性を持ち関わり、入居者の「安心した暮らし」「生活の楽しみ」へと繋げられるよう努めて参ります。	

ユニット型 10名棟

ユニット型10名棟 平成29年度の課題
・24時間シートを有効に活用する事が出来ておらず、状態変化時などの見直しが出来ていなかった。スタッフ全員で再度24時間シートをもとに業務を行う大切さを理解しなければならない。現状としてまだまだスタッフ間のケアの知識技術面のばらつきは解消出来ない為内部での研修会を開催していく事で知識技術ともにスキルアップを図り入居者にとって、安心、安全な生活に努めていきたい。限りある人員の中で業務を行う為にも24時間シートに重要性をもう一度スタッフ間で認識して行かなくてはならない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
・ユニットスタッフ間で24時間シートの必要性を再認識するため、リーダー、主任を中心に棟会議などで取り上げて意識を高める。 ・スタッフのスキルアップのため、資格取得や介護課として内部研修を実施し新しい事にチャレンジする。 ・話やすい、相談しやすい環境作りに努め、ユニット内入居者、職員にとって安心出来る場所としていけるよう、コミュニケーションを重視し業務改善に努める。 ・スタッフ全員が五本柱（誰のために何をどうするか・・・）を重点に考えて業務にあたり、各課との連携を図る。行事、外出に関しても各と一体性を持ち関わり、入居者の「安心した暮らし」「生活の楽しみ」へと繋げられるよう努めて参ります。

従来棟（多床室）

従来型（多床室） 平成29年度の課題
昨年度同様24hシートの活用が上手くできていなかった。24hシートに沿った仕事ができ職員一人一人が活用性について再度、理解する必要があると感じた。リスク管理の部分でも事故につながったケースが多かったが後半は徐々に一人一人のリスクに対する意識が高くなり事故は減ってきている。また、ミーティングや申し送りノートを活用し徐々に統一したケアできたため再度ご利用して頂けるショートステイの利用者様が増え利用者様の満足度につながっていると思われる。 昨年度改善できた点を他の課に情報共有して連携を深めていきたい。
課題を改善するために講ずる計画の概要
・職員一人ひとりが5本柱をしっかり考えて仕事に打ち込む。 ・職員のスキルアップを計る為に外部研修、内部研修はもとより個々の技術向上を主役取得に努める。 ・入居様と個々に合わせてレクレーションを多くし季節を感じて頂き24シートを活用し日々楽しく暮らして頂けるようにする。 ・統一したケアを測る為に職員間のコミュニケーションづくりをはかる。

4. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 各会議の開催状況

会議名	参加者職氏名	開催日	会議内容
1. 運営推進会議	・登米市福祉事務所 長寿介護課担当職員 ・迫町地域包括支援 センター 高橋辰様 ・新田駅前地区 区長 石川法夫様 ・新田駅前地区民生委 員 佐藤由美子様 ・せくれ家族会会長 酒井俊則様 ・入居者代表3名 ☆細川公也施設長 ・曾根香世子係長 ・久道千秋係長 ・菅原有佑事務局員 ・氏家良子部署主任 ・岩淵あすか部署主任 ・佐藤教充部署主任 ・高橋奈々生活相談員 ・及川雅敏生活相談員	平成 29 年 4 月 30 日 平成 29 年 6 月 30 日 平成 29 年 8 月 31 日 平成 29 年 10 月 30 日 平成 29 年 12 月 15 日 平成 30 年 3 月 16 日	・法人及び施設の概要説明 ・運営推進会議規約及び構成員 の承認について ・入居者現況報告 ・ひやりはっと、事故報告 ・行事計画及び実施報告 ・総合防災訓練実施報告 ・研修参加状況報告 ・実地指導監査報告について ・クラブ活動実施計画について ・地域との連携状況について ・地域における公益的な取り組 み活動方法について ・感染症対策報告について ・年間事業計画及び事業報告 (看護課、介護課、栄養課、相 談課より) ・質疑応答 ・各構成員より
2. 地域協力員会 議	・地域協力員 ・細川公也施設長 ・佐藤教充部署主任 ☆氏家健一防火管理者 ・菅原有佑事務局員 ・及川雅敏生活相談員 ・近藤美喜 ・橋本謙治	平成 29 年 6 月 23 日 平成 29 年 10 月 16 日 平成 30 年 3 月 30 日	・地域協力員の紹介 ・総合防災訓練計画及び実施報 告について ・緊急時の連絡体制について ・各ユニット毎による、入居者 の現況報告、避難誘導時の入 居者対応の注意点 ・総合防災訓練の反省点 ・平成 29 年度活動報告及び 平成 30 年度活動計画について ・地域協力員より
3. 経営・運営会 議 (ショートステイ会議集約)	・細川公也施設長 ・曾根香世子係長 ・久道千秋係長	平成 29 年 4 月 9 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・各専門職より報告 (SS 報告) ・その他

	☆佐藤教充部署主任 ・氏家良子部署主任 ・岩渕あすか部署主任 ・菅原有佑事務局員 ・大森幸看護師 ・高橋奈々生活相談員 ・佐々木剛エトリダー ・氏家健一エトリダー ・佐藤美和栄養士	平成 29 年 5 月 14 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・各専門職より報告 ・その他
		平成 29 年 6 月 11 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・各専門職より報告 ・その他
		平成 29 年 7 月 9 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・各専門職より報告
		平成 29 年 8 月 4 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・ショートステイ現況報告 ・サービス向上への取り組み
		平成 29 年 9 月 29 日	・各ユニット利用者及び職員 状況報告 ・ショートステイ現況報告 ・その他
4. 職員全体会議	・特養せくれ全職員	※今年度は開催せず、役職者会議や個別面談を通して事業の説明等を実施。	・目標管理と評価について ・諸規則説明 ・各課の事業計画について
5. ユニット会議 【8、10 名棟合同】	・白土豪介護係長 ・佐藤教充部署主任 ・佐々木剛エトリダー ・氏家健一エトリダー ・各ユニット職員 ・久道千秋係長 ・菅原有佑事務局員 ・高橋奈々生活相談員 ※各課職員については必要に応じ参加することとする。	平成 29 年 4 月 9 日	・入居者の情報共有について ・事故報告について ・その他
		平成 29 年 5 月 21 日	・入居者の情報共有について ・各委員会より ・6 月行事について ・モニタリング内容確認 ・食中毒について ・認知症ケア加算取得について ・その他
		平成 29 年 6 月 11 日	・入居者の情報共有について ・各委員会より ・行事について ・モニタリング内容確認 ・認知症ケア加算内部研修 ・その他
		平成 29 年 7 月 9 日	・入居者の情報共有について ・オムツ検討

			・行事について ・モニタリング内容確認 ・マニュアル作成について ・認知症ケア加算内部研修 ・その他
		平成 29 年 9 月 24 日	・入居者の情報共有について ・カンファについて ・勤務体制、業務について ・各委員会より ・その他
		平成 29 年 10 月 16 日	・入居者の情報共有について ・シフト時間帯について ・勤務体制について ・入浴について ・洗濯について ・その他
6. ユニット会議 【従来棟】	・岩渕あすか部署主任 ・各ユニット職員 ・久道千秋係長 ・菅原有佑事務局員 ・高橋奈々生活相談員 ※各課職員については必要に応じ参加することとする。	平成 29 年 4 月 18 日	・理念確認、業務確認、委員会行事について ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・アセスメントについて ・事故報告について ・機能訓練について ・ケアプランについて
		平成 29 年 5 月 17 日	・カンファレンスの入居者について ・アセスメントについて ・事故報告について ・夜間緊急時の対応について ・シュミレーション、ケアチェック表について ・機能訓練について
		平成 29 年 6 月 14 日	・ショートステイについて ・環境整備について ・業務について ・認知症勉強会について
		平成 29 年 7 月 12 日	・カンファレンスの入居者について ・ショートステイについて ・ケアチェック表、月まとめについて

		平成 29 年 8 月 15 日	・委員会について ・排泄表の見直し ・業務の見直し ・事故報告について
		平成 29 年 9 月 13 日	・行事について ・研修報告会（勉強会） ・業務について
		平成 29 年 10 月 22 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・入居者について ・業務について ・ショートについて ・勤務時間について
		平成 29 年 11 月 16 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・カンファについて ・就業規則について ・ショートについて ・インフルエンザについて
		平成 29 年 12 月 21 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・入居者について ・褥瘡の勉強かいについて ・介護事故についての勉強会 ・従来棟 5 本柱について
		平成 29 年 1 月 17 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・入居者について ・リスクの研修報告 ・介護技術講座研修報告 ・業務について ・シフトについて ・時間外について
		平成 29 年 2 月 16 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・入居者について ・エトケア研修報告について ・社会人としての自覚について - 勉強会 ・土台Ⅰ～Ⅲについて ・業務について

		平成 29 年 3 月 20 日	・コンプライアンスについて ・行事について ・入居者について ・糖尿病について勉強会 ・業務について ・担当から
--	--	------------------	---

5. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 委員会の開催状況

施設全体の生活支援を構築する上で、職員各々が検討する場所が確立されることで『バランスのとれた入居者本位のサービス』へ繋がると捉え、入居者の人権の尊重を推進すると共に生活全般について、それぞれ調査・検討及び実践する機関及び各課の共通認識・連携を図る場所として以下の各委員会を開催した。(平成 30 年 3 月 31 日現在)

委員会名	参加者職氏名	開催日	委員会内容
1. 防火対策委員会	・細川公也施設長 ・佐藤教充部署主任 ☆氏家健一防火管理者 ・菅原有佑事務局員 ・及川雅敏生活相談員 ・近藤美喜 ・橋本謙治	平成 29 年 5 月 23 日	・夜間通報訓練実施
		平成 29 年 6 月 23 日	・平成 29 年度第 1 回総合防災訓練実施 ・非常食体験実施 ・平成 29 年度第 1 回地域協力員会議実施 ・地域協力員会議の開催日時及び説明内容について ・緊急連絡網の変更について
		平成 29 年 9 月 25 日	・消防設備立ち入り検査
		平成 29 年 10 月 16 日	・平成 29 年度第 2 回総合防災訓練実施 ・平成 29 年度第 2 回地域協力員会議実施 ・地域協力員会議の開催日時及び説明内容について ・緊急連絡網の変更について
		平成 30 年 3 月 30 日	・緊急連絡網の変更について ・地域協力員会議について ・平成 29 年度の反省について ・平成 30 年度活動計画について ・次年度活動計画立案

2. 安全衛生・感染予防対策委員会	・細川公也施設長 ☆曽根香世子係長 ・久道千秋係長 ☆大森幸看護師 ・氏家良子部署主任 ・佐藤教充部署主任 ・高橋奈々生活相談員 ・及川雅敏生活相談員 ・鹿野佑太 ・岩淵あすか部署主任 ・佐藤美和栄養士	平成 29 年 5 月 25 日	・感染症罹患時の対応 ・面会者、職員の手洗いうがい ・6 月健康診断について ・疲労蓄積度調査結果報告
		平成 29 年 7 月 29 日	・食中毒 内部研修について ・疲労蓄積度調査結果報告
		平成 29 年 10 月 13 日	・インフルエンザ予防接種実施時期 ・インフルエンザ対策 ・ショートステイ利用者送迎時の確認事項 ・職員の労働環境状況 ・疲労蓄積度調査結果報告
		平成 29 年 12 月 15 日	・インフルエンザ対策について ・ノロウィルス対策について ・疲労蓄積度調査結果報告 ・職員ユニフォームの取り扱いについて
		平成 30 年 1 月 22 日	・面会規制について ・各部署ごとの感染対策実施報告 ・疲労蓄積度調査結果報告
		平成 30 年 3 月 29 日	・面会規制解除について ・今年度の反省
3. 給食委員会	・細川公也施設長 ・白土豪係長 ・久道千秋係長 ☆佐藤美和栄養士 ・及川雅敏相談部署主任 ・北浦佳代 ・菅原可偉 ・大森幸看護師	平成 29 年 4 月 7 日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・玄米ごはん提供に関して ・とろみ剤変更確認
		平成 29 年 6 月 2 日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・脱水予防について ・麺類の提供に関しての相談
		平成 29 年 8 月 4 日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・常食～ミキサー食の試食

		平成 29 年 10 月 6 日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・下膳方法の確認（感染症） ・高エネルギー食の試食・説明
		平成 29 年 12 月 8 日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・下膳に関してのお願い ・早出しについての確認
		平成 30 年 2 月 2 日	・行事食について ・その他 ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・配食サービスに関して ・嗜好調査結果発表
4. 広報・行事委員会	・佐藤教充部署主任 ・菅原有佑事務局員 ・高橋奈々生活相談員 ・及川雅敏生活相談員 ☆高橋瑞樹 ・鹿野佑太 ・荻原朱音 ・前田優也	平成 29 年 7 月 1 日	家族会お茶会について ・スケジュール確認 ・家族会交流内容確認
		平成 29 年 7 月 17 日	家族会お茶会実施
		平成 29 年 7 月 18 日	・納涼祭について 目的、日時確認 キャッチフレーズについて 当日スケジュール確認 役割分担について 模擬店について 来賓関係者について 職員出し物について
		平成 29 年 7 月 24 日	・納涼祭について アンケート報告について うちわ、キャッチフレーズについて 模擬店について 地域独居世帯の対応について
		平成 29 年 8 月 26 日	・納涼祭の実施
		平成 29 年 9 月 12 日	・敬老会について 日時時間確認 当日スケジュール確認 役割分担について

			出し物について
		平成 29 年 9 月 18 日	・敬老会式典並びに長寿を祝う会実施
		平成 29 年 12 月 28 日	・新年会について 日時時間確認 当日スケジュール確認 役割分担について 出し物について
5. リスクマネジメント・サービス向上委員会 ※委員会の内容 ・苦情処理に関すること ・事故防止に関すること ・身体拘束に関すること ・施設サービス全般の向上に関すること	・細川公也施設長 ・曾根香世子係長 ・久道千秋係長 ☆佐藤教充部署主任 ・高橋奈々生活相談員 ☆及川雅敏生活相談員 ・佐々木剛エトリガー ・氏家健一エトリガー ・岩渕あすか部署主任 ・高橋瑞樹 ・大森幸看護師 ・佐藤美和栄養士	平成 30 年 1 月 8 日	・新年会実施
		平成 29 年 4 月 12 日	・委員会年間活動計画について ・現状におけるサービス提供上の課題及び要望について ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・施設内部研修会の実施について
		平成 29 年 6 月 14 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・苦情処理に関する基本規則の一部改正について ・苦情解決に関する研修会について ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・ヒヤリハット様式変更について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・ショートステイ利用報告書新様式について

		平成 29 年 8 月 9 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・その他
		平成 29 年 10 月 12 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・その他
		平成 29 年 12 月 21 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・その他
		平成 30 年 2 月 26 日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・来年度の委員会開催日程について ・その他
6. 入居判定委員会	・細川公也施設長 ・曾根香世子係長 ☆久道千秋係長 ・氏家良子部署主任 ・佐藤教充部署主任 ☆及川雅敏生活相談員	平成 29 年 5 月 26 日	・委員会活動予定について ・入居者及び入居待機者状況について ・入居判定基準の一部変更について ・入居待機者の優先度判定、その他

	・高橋奈々生活相談員 ・佐々木剛エトリガー ・氏家健一エトリガー ・高橋瑞樹 ・大森幸看護師 ・佐藤美和栄養士 ・囁託医 ・法人監事 (第三者委員)	平成 29 年 8 月 25 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		平成 29 年 11 月 24 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		平成 30 年 2 月 23 日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
7. 褥瘡防止委員会	・細川公也施設長 ☆曾根香世子係長 ・久道千秋係長 ☆大森幸看護師 ・氏家良子部署主任 ・佐藤美和栄養士 ・高橋奈々生活相談員 ・及川雅敏生活相談員 ・金野秀明 ・前田優也 ・鹿野佑太 ・遠藤彰太	平成 29 年 5 月 19 日	・今年度の目標（施設全体） ・部署毎の目標 ・褥瘡現状報告 ・各課より褥瘡予防計画書作成後の状況報告と対策について
		平成 29 年 8 月 14 日	・今年度の目標達成状況 ・各部署の目標達成状況 ・褥瘡現状報告 ・各課より褥瘡予防計画書作成後の状況報告と対策について
		平成 29 年 10 月 19 日	・今年度の目標達成状況 ・各部署の目標達成状況 ・褥瘡パンフレット確認
		平成 29 年 12 月 5 日	・今年度の目標達成状況 ・各部署の目標達成状況 ・褥瘡パンフレット確認
		平成 30 年 2 月 16 日	・今年度の目標達成状況 ・各部署の目標達成状況 ・褥瘡のメカニズム
		平成 30 年 3 月 8 日	・今年度の目標達成状況 ・各部署の目標達成状況 ・褥瘡パンフレット確認

※☆印は委員会の委員長及び担当者とする。☆印の多数の委員会については、委員長を互選で決定することとする。

6. 職員の資質向上策と福利厚生

社会福祉施設における役割には大きな期待が寄せられております。それに応える職員の資質向上と変化の激しい福祉施設のニーズの多様化に対応するため各種研修会へ積極的に参加し、職員間の連携と共通認識をより深めるため、内部研修も開催して参りました。また、人間性を重視した人材の育成に力を入れ、福祉施設の専門職員としての自覚と資質の向上に努めるとともに、職務に関連した資格取得の励行に努めて参りました。

(1) 外部研修

(平成30年3月31日現在)

日時	研修名	研修場所	主催者	参加職員名
5月29日	平成29年度宮城県OJT指導者研修	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
7月21日	平成29年度宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
8月3日	報告・指示の仕方受け方研修会	仙台市	お茶の水ケアサービス学院	1名
8月3日	登米栄養士会	登米市	登米栄養士会	2名
9月1日	登米市内特別養護老人ホーム管理者等意見交換会	登米市	特別養護老人ホーム柳風園	1名
9月3日	平成29年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
9月4日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
9月9日	平成29年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
9月12日	平成29年度指定病院等不在者投票管理者打ち合わせ会	仙台市	宮城県選挙管理委員会	1名
9月14日	平成29年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
9月21日	平成29年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	仙台市	(社福)宮城県社会福祉協議会	1名
9月26日～27日	平成29年度国際福祉機器展	東京都	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	3名
10月3日	平成29年度宮城県高齢者権利擁護推進員養成研修	仙台市	エール	2名

10月6日	第18回介護保険推進全国サミット in いわぬま	岩沼市	宮城県岩沼市	1名
12月7日	平成29年度リスクマネジメント研修	仙台市	(社福) 宮城県社会 福祉協議会	1名
12月8日～ 11日	平成29年度社会福祉協議会・社会 福祉施設職員会計実務講座	神奈川県	(社福) 全国社会 福祉協議会	1名
12月14日	平成29年度介護ロボット導入支援事 業・ロボット等介護機器導入支援事業 第2次交付審査会	仙台市	宮城県保健福祉部 長寿社会政策課	1名
12月19日	平成29年度アンガーマネジメント 研修	仙台市	(社福) 宮城県社会 福祉協議会	1名
2月7日	平成29年度ロボット等介護機器導入 セミナー(第3回)	仙台市	宮城県保健福祉部 長寿社会政策課	1名
2月9日	平成29年度宮城県ユニットケア研修	仙台市	一般社団法人日本ユニ ットケア推進センター	2名
2月22日	社会福祉法人制度改革に対応した 法人運営等研修会	仙台市	宮城県保健福祉部 社会福祉課	1名

(2) 内部研修

施設サービスの向上と各課、職員個々のスキルアップを目的とし、講師又は施設職員を中心とし、特別養護老人ホームせくれ～Secure～所内研修会を開催致しました。

(平成30年3月31日現在)

日時	研修名	研修場所	主催者	参加職員名
4月15日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
5月12日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
6月9日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月7日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月20日	中堅者勉強会	特別養護老人 ホームせくれ	久道係長	職員 4名
8月12日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名

9月8日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
10月6日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
11月4日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
12月8日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
1月12日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
2月9日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
3月2日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
随 時 ※職員入職時	新人職員研修	特別養護老人 ホームせくれ	各部署主任	随時 ※職員入職時

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに
腰椎検査、感染症対策へ万全を期してきました。(平成30年3月31日現在)

健康診断	対象者：全職員 受診数：32名	場所：サングリニック
腰椎検査	対象者：直接処遇職員 受診数：16名	場所：サングリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：32名	場所：特別養護老人ホームせくれ

7. 避難訓練の実施状況

発見、消火、通報、避難誘導の基本を職員一人一人が理解することで、非常時においても適切な対応が図れるよう、以下のとおり避難訓練を実施致しました。

(1) 避難訓練の内容

(平成30年3月31日現在)

月日	訓練内容	出火場所	参加者数		所要時間
			入居者	職員	
6月23日	消防署立会総合防災訓練(通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練)	厨房	30名	26名	13分 04秒 ※夜間想定
10月16日	消防署立会総合防災訓練(通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練)	厨房	32名	28名	10分 05秒 ※夜間想定

(2) 消防署からの講評

・全2回を通して

「発見」、「消火」、「通報」、「避難誘導」に分けられた訓練ですが、「発見」の段階で感知器が鳴り担当者が来られたが、その際に何も持たずに来られたため、出来れば初めに消火器を持ってきてほしい。「消火」の役割分担について、最後に消火に来られた方が来た時には、初めに消火にあたった担当が『初期消火失敗』という事で報告に行ったのにも関わらず、最後に消火に来た担当者が消火器を持っていた。『初期消火失敗』という事は、天井まで燃え広がりどうしようもない状態のため、その際は消火器を置いて避難誘導を行って下さい。

「通報」について、感知器が鳴ったと同時に赤い電話(119番通報装置)と連動になっているため、119番に連絡されるようになっていきます。逆信がきた場合、人数が少ない時には電話に出る必要はありません。「避難」について、今回はベッドや車椅子を使って地域と協力し皆さんと避難誘導していたのは有効でした。しかし、出火場所が厨房のため、正面玄関を使うと出火場所に向かってくるという事で危険な状態と考えられます。可能な限り出火場所から遠くへ避難するよう行って下さい。また、施設には最新の消防設備が設置されており、職員だけでは避難誘導や消火等を止めるには困難なことから、消防設備を知り、有効活用することも必要と思います。

8. 施設行事実施状況（全体行事）

（平成30年3月31日現在）

月 日	行 事 名	場 所	参加者・団体
4月14・ 17日	観桜会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
4月6日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
4月24日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
5月9日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
5月17日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
5月26日	看護課開催・お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
6月12日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
6月20日	水まんじゅう作り	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
6月22日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7月12日	第1回居酒屋“ふれあいの瀧”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7月17日	入居者家族合同お茶会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、職員
7月19日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
8月21日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
8月26日	納涼祭	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、地域住民、職員
9月14日	第1回 カフェ・“せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
9月18日	敬老会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、地域住民、職員
〃	敬老会にてハンディキャップ体験(食事)	〃	〃

9月20日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
10月9日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
10月12日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月1日	新田小交流	特別養護老人 ホームせくれ	新田小学校、入居者、職員
11月15日	第2回居酒屋“ふれあいの瀧”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月17日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月28日	ショッピングツアー	イオン佐沼	入居者、地域住民、職員
12月4日	3B体操	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、3Bの皆様、職員
12月6日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
12月11日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
12月13日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
12月14日	第2回 カフェ・“せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
12月25日	クリスマス忘年会、	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
平成30年 1月8日	新年会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、地域住民、職員
1月11日	第3回居酒屋“ふれあいの瀧”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
1月16日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
2月8日	第3回 カフェ・“せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員

※平成30年2月・3月は入居者の感染症（インフルエンザ等）流行のため、行事等を延期・中止。

9. 地域との連携状況

(平成30年3月31日現在)

月日	会議・行事名	場 所	参加者・団体
6月23日	第1回 総合防災訓練・地域協力員会議	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、施設長、各職員
8月26日	納涼祭 (家族会合同行事)	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、法人内各事業所、施設長、各職員
9月18日	敬老会 (家族会合同行事)	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、施設長、各職員
10月16日	第2回 総合防災訓練・地域協力員会議	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、施設長、各職員
平成30年 1月8日	新年会 (家族会合同行事)	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、施設長、各職員
3月30日	第3回 地域協力員会議	特別養護老人ホームせくれ	地域住民、施設長、各職員

10. 地域における公益的取り組み

社会福祉法の改正に伴い法人事業計画へ記載されているとおり、法第24条第2項へ準拠した取り組みを実施するとともに事業所が所在する地域の現況へ応じた取り組みを計画して参りました。

事業名	場 所	具体的な内容
配食サービス	新田駅前地区 各自宅	独居高齢者世帯の新田駅前地区、平日(月～金)の夕食のみ(17時配達)1日5食限定実施。どうしても偏ってしまいがちな食事で1食でも栄養バランスのとれた食事を低価格で味わって頂きながら配達時に誰かと会話(食事の感想や世間話)をすることで日常生活を充実したものに頂く(平成30年2月より開始)。
Café “せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	施設内で自ら選択した(飲み物・お菓子)を飲食しながら他者との交流の機会を楽しめる趣旨で実施しているカフェに新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と楽しいひと時を過ごして頂く。(年6回・午前10:00～)
居酒屋 “ふれあいの瀧”	特別養護老人 ホームせくれ	施設内で居酒屋に外出した気分を感じて頂く事を趣旨として、晩酌や軽食を楽しめるよう実施している居酒屋に新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と一緒に1日の疲れを癒して頂く(年6回・午後16:00～)
ショッピングツアー	イオンセンタ ー佐沼店	新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象としたショッピングツアーを無料送迎で実施し、地域の皆様と入居者様の交流を図る。